

安全に利用できるように、適切な維持管理をしていく。

### 災害対策事業

**Q** 災害用の備蓄物資の整備は。

**A** **安心安全推進課長** 市役所以外では、備蓄倉庫は新町小学校に1つ設置している。他には、藤小学校と南中学校以外の小中学校の空き教室を利用して物資を備蓄している。水や食料の備蓄量は約6000人を想定しており、28年までに順次追加し、整備する予定である。なお、現在は、約半分の量を備蓄している。

### 学力向上推進事業

**Q** 学力向上のための学習支援員等の人数は。

**A** **学校教育課長** 学習支援員を各校1人配置しており、各校の課題に応じて活用している。また、効果的な支援をするために学習支援員の研修会を開催するなど、資質の向上を図っている。

**Q** 算数学力向上支援員の採用方法の改善は。

**A** **学校教育課長** 週5日勤務者に加え、週3日勤務者等も採用し、人数を増やして、それらを組み合わせて1日に勤務できる支援員の確保に努めていく。

### 公民館運営事業

**Q** 公民館の統廃合は。

**A** **南公民館長** 公民館は、将来的に多機能化や適正な配置や規模を踏まえたうえで統廃合していく。公民館6館は、地域に根付いているが、老朽化が進んでいる。今後は、財政や人口規模、世帯構成などの変化から使い方が変わっていくと考えている。

### 図書館フロント業務等委託事業

**Q** 図書館フロント業務委託後の満足度と経費の削減は。

**A** **図書館長** 25年度から図書館フロント業務が委託となり、アンケート調査を行ったところ、満足、大いに満足が80割、普通という意見を含めると約98割の方が肯定的な意見だった。約3000万円の経費の抑制となっている。



中央図書館

## 特別会計予算 ( ) は、前年度予算額

### 国民健康保険

76億9337万円  
(75億3281万円)

### 後期高齢者医療

5億1195万円  
(4億7343万円)

### 介護保険

31億6462万円  
(29億1381万円)

### 一本松土地区画整理事業

2億9885万円  
(2億6433万円)

### 若葉駅西口土地区画整理事業

4億3991万円  
(4億3726万円)

### 一本松土地区画整理事業

**Q** 31年度事業完成に向けて、26年度の取り組みは。

**A** **区画整理課長** 事業の見通しは、来年度末に仮換地指定率が85・5割、建物移転の率が92・9割で移転戸数の残りは、18戸となる予定である。また一本松駅周辺の南口通り線と駅前広場の整備については、28年度完成に向けて事業を進めていく。

### 若葉駅西口土地区画整理事業

**Q** 31年度事業完成に向けて、26年度の取り組みは。

**A** **区画整理課長** 26年度末に建物移転で残り28戸となる予定である。共栄一本松線が開通し駅周辺の整備が進んだことにより、これからは、建物移転の協議をしながら、地区南側の区画道路の整備を進めていく。計画どおりの事業完成を目指す。

### 後期高齢者医療

**Q** 26年度後期高齢者保険料について。

**A** **保険年金課長** 26・27年度の2年間は、所得割が8・29割、均等割額が4万2440円、賦課限度額が57万円である。

### 国民健康保険

**Q** 予算の状況は。

**A** **保険年金課長** 26年度国民健康保険特別会計の総予算は、76億9336万8000円、前年度と比較して、2・1割の伸びで、療養給付費の占める割合は、全体の約67割である。

**Q** 特定健康診査受診率の目標値は。

**A** **保険年金課長** 予算編成に当たり、受診者数を5050人と見積もっており、受診率は34・32割である。

### 介護保険

**Q** 地域包括支援センターの相談件数、相談内容について。

**A** **高齢者福祉課長** 相談件数は、26年1月末現在で1325件、本年度に3か所目の包括支援センターを設置したこと、相談件数が増加している。介護予防のプランニングから、高齢者自身に関する医療、介護問題など多岐にわたる相談を受けている。

